

弘前藩日記目録

(四)

弘前藩政史研究会編

(延宝三年、八月)

廿四庚辰日 晴雨

1、主馬登城

廿五辛巳日 晴 (記事なし)

廿六壬午日 晴霜

1、幕側の御返は喜に江戸で行なう旨書状来る

2、蓮牛与右江門の家来が江戸へ上るにつき書状

3、庄右江門への進物

廿七癸未日 晴

1、式日寄合

廿八甲申日 晴雨風晴

1、諸士の御礼

2、庄右江門登城

廿九乙酉日 晴雨 (記事なし)

延宝三年九月

一丙戌日 晴

1、恒例の諸士御礼

2、八月十八日江戸出発の飛脚到着

二丁亥日 晴霜

1、式日寄合

月番 北村弥右江門

2、又冒険へ進上した小袖の目録

三庚子日 晴 (記事なし) 「今日本日より、干支の干」

四辛丑日 晴霜風雨

1、掃刀り登城

五壬寅日 晴風雨

1、江戸の台所頭人として工藤之兵衛を登す

六癸卯日 晴雨風 (記事なし)

七甲辰日 晴

1、式日寄合

2、黒石佐五左江門を江戸へ出発せしむ

3、黒石頼より逃亡中の科人を引渡す

八乙巳日 霞

1、大内蔵へ重陽の小袖等を進上

2、中川小隼人等三人を江戸へ出発せしむ

九丙午日 晴

1、例年の通り諸礼式

2、張番はその頭人より命ず

3、十一日バリで飛脚江戸へ出発

十丁未日 晴霜

1、物成松代銀を盗み逃亡した者を逮捕し斬罪

十一戊申 晴霜 (記事なし)

十二日 晴

1. 式日寄合

2. 五所川原の代官を任命

3. 帶刀登城

十三日 晴

1. 松前兵庫より初穂の鷹、大決へ着岸

2. 大風により十三へ鹿皮・熊皮打ち上げらる

3. 十三長決へ堀三丁打ち上げ

十四日 晴 雨 雷 (記事なし)

十五日 晴 雷

1. 恒例の諸士御礼

2. 二日江戸出発の飛脚到着

3. 津輕十郎兵衛が月一日死去の由

4. 延宝三年九月二日付惣役人中の寛

(諸事用品で京・江戸より購入の場合の扱い方)

5. 酒の当座造りを厳禁

6. たびこの本田畑への栽培禁止

7. 寺社領 (5・6・7は江戸より飛脚持参)

十六日 晴 雷 (記事なし)

十七日 晴 風

1. 式日寄合

2. 飛脚二人江戸へ出発

3. 金奉行を任命

十八日 晴 風 雨 雷

1. 平八郎登城

十九日 晴 雷 雪 少 風

1. 帶刀登城

廿一日 晴 (記事なし)

廿二日 晴

1. 帶刀・左門・平八郎登城

廿三日 晴

1. 式日寄合

2. 新寺町画太橋の門番小人の給与改正

廿四日 晴 風 (記事なし)

廿五日 晴 霜 (記事なし)

廿六日 晴 霜

廿七日 晴 雨

1. 江戸へ飛脚二人立ち

2. 南部と秋田で論山あり、殺人事件起り調査

3. 寄合所で能の稽古

廿八日 晴 雨

1. 式日寄合

2. 平八郎登城

3. 弘前西光寺と浪岡西光寺と別々に嘉利支丹改めの寺

諸帳作成を許可

廿九日 晴 雨

1. 恒例の諸士御礼

2. 庄右衛門登城

3. 米留切寺出役人を任命

廿九日 晴 晴雪風 〔本日まで干支の干、二日づつかれ、まゝ〕

1. 十三次へ打上げられた鹿皮の所有者判明し、返却

2. 江戸屋敷普請のための支払金を江戸へ登す

3. 十二日に立つた江戸よりの飛脚到着

4. 素庵へ書簡一通と掛物

5. 桂林院より久昌院へ手紙と進物

6. 跡式相続の許可

7. 8. 單取り相続の許可

9. 庄右衛門の屋敷・屏の普請を仕事奉行へ下命

延宝三年十月

月番 進藤庄兵衛

一 卯日 晴

1. 恒岡の諸士御礼

二 辰日 晴雨

1. 式日寄合

2. 平八郎登城

三 巳日 晴風雨雷電

1. はた／＼を久昌院進上

四 戌午日 晴晴

(記事なし)

五 己未日 晴霜山鳴

(記事なし)

六 庚申日 晴

(記事なし)

七 辛酉日 晴雨風

1. 式日寄合

2. 平八郎登城

八 壬戌日 晴風雪

1. 左家の領内よりの飛脚出立、商品の移送に關する規

制

2. 去耳不依などの為、はた／＼あら役赦免

九 癸亥日 晴雪

1. 江戸へ十二日ぶりの飛脚出発

2. 平八郎登城

十 甲子日 晴

1. 昨夜江戸よりの飛脚到着

2. 久昌院へ御所柿進上

3. 同じく玄蕃へも

4. 素庵へ書簡

5. 紙乞一、喜多見久太夫より素庵へ

6. 榎方次郎右衛門の跡式没取

7. 萩原彈右衛門、病気で喉を給わる

8. 皮につぎ注文

9. 浦々の沖口米留を免す

10. 藩士の跡式許可

11. 八木橋弥市右衛門の書物を入念に書き、重便で登せ

る旨

12. 来田長九郎妹の縁組許可

13 庄右江門へ書簡一通

14 藩士の跡式許可

15 藩士の改名許可

16 主馬等登城

十一 乙 日 晴 霽 雷

1 帶刀等登城

十二 丙 寅 日 晴 霽

1 式日寄合

2 平八郎登城

十三 丁 卯 日 晴 雨 風 (記事なし)

十四 戊 辰 日 晴 少 風 時 雨 (記事なし)

十五 己 巳 日 晴 時 雨

1 恒例の諸士御礼

十六 庚 午 日 晴 霽

1 江戸よりの茶を久昌院へ進上

2 同じく東庵へ進上

十七 辛 未 日 晴

1 四日江戸出発の飛脚昨夜到着

2 式日寄合

3 素庵へ小箱一進上

4 久昌院へ手紙一通、桂林院よりも一通

5 庄右江門へ手紙一通

6 来年の登米は進藤庄兵衛が担当

7 御蔵奉行を任命

8 横目を任命

9 主馬ら登城

十八 壬 申 日 晴 雨 霽 風 (記事なし)

十九 癸 酉 日 晴 風 (記事なし)

廿 甲 戌 日 晴

1 大直寺次郎市の若党、昨日乱心、小姓を斬殺、長屋

へ引籠り自害

2 帶刀ら登城

廿 一 乙 亥 日 晴 風 雨

1 久昌院へ初聴進上

2 主馬ら登城

廿 二 丙 子 日 晴 風 霽

1 式日寄合

2 屋敷替

3 4 屋敷の貸与

5 帶刀登城

廿 三 丁 丑 日 晴 霽

1 飛脚四人江戸へ出発

2 平八郎登城

廿 四 戊 寅 日 晴 霽 雷 (記事なし)

廿 五 己 卯 日 晴

1 預手付下役人らの入替は勘定所へ断ること

2 帶刀・平八郎登城

廿 六 庚 辰 日 晴 (記事なし)

廿七 辛巳日 晴

1. 式日寄合

2. 肝煎跡次兵征下届あり追放

廿八 壬午日 晴雨

1. 諸士御礼

2. 平館へ伝馬舟一艘他打ち寄す旨注進

廿九 癸未日 晴雪

1. 江戸よりの荷物到着

卅甲 申日 晴雪

1. 沖口米移出認可

2. 大道寺次郎市登城

延宝三年十一月

一 乙酉日 晴雪

1. 諸士御礼

二 丙戌日 晴

1. 式日寄合

三 丁亥日 晴

1. 戌合

四 戊子日 晴

1. 沖口出米の許可

2. 帶刀ら登城

五 己丑日 晴雨

1. 庄兵征青森へ出張

月番 北村跡右征門

2. 大道寺次郎市登城

六 庚寅日 晴 (記事なし)

七 辛卯日 晴風雪

1. 式日寄合

2. 沖口出米の許可

3. 主馬・帶刀登城

八 壬辰日 晴

1. 飛脚二人江戸へ出立

2. 平八郎登城

九 癸巳日 晴晴雪 (記事なし)

十 甲午日 晴雪

1. 左門ら登城

2. 寄合所で能碁古

十一 乙未日 晴風雪

1. 主馬登城

十二 丙申日 晴雪

1. 平八郎ら登城

十三 丁酉日 晴雪

1. 左門ら登城

十四 戊戌日 晴

1. 蔵人町で火事

十五 己亥日 晴雪

1. 諸士御礼

十六 庚子日 晴雪

1. 江戸よりの飛脚到着

2. 公方様より有拜領

3. 佐竹左京様へ使者

4. 5. 藩士の跡式許可

6. 主馬ら登城

十七辛丑日 晴雪

1. 式日寄合

2. 轉献上

3. 鶴田村作之亟ら不届につき追放

十八壬寅日 晴雪

1. 板久への材木

2. 左門ら登城

十九癸卯日 晴

1. 5. 20. 悪白で追鳥狩

21. 主馬ら登城

廿甲辰日 晴大雪

1. 左門ら登城

2. 3. 寄合所で能稽古

廿一乙巳日 晴

1. 大道寺次郎市登城

廿二丙午日 晴

1. 式日寄合

2. 5. 長勝寺・報恩寺へ烛台等寄進
廿三丁未日 晴霰

1. 献上品を江戸へ差渡し

2. 久保田へ使者

3. 江戸より書状

4. 御茶注文

5. 左門登城

廿四戊申日 晴霰雪

1. 5. 10. 桂光院廿一回忌法事を報恩寺・長勝寺で執行
他に御布施の寛書

廿五己酉日 晴雪

1. 文昌院長勝寺に参詣

廿六庚戌日 晴雪霰

1. 左門登城

廿七辛亥日 晴

1. 式日寄合

2. 飛脚江戸へ出発

3. 庄兵征病気で登城なし

4. 帯刀ら登城

廿八壬子日 晴雨風

1. 諸士御礼

廿九癸丑日 晴風雪

(記事なし)

延宝三年十二月

一甲寅日 雪晴

1. 諸士御礼

月番

進藤庄兵征

二乙卯日 晩雪

1、式日寄合

2、弥右江門病氣で登城なし

三丙辰日 晩雪 (記事なし)

四丁巳日 同大雪 (記事なし)

五戊午日 晩雪

1、左門ら登城

六己未日 風雪

1、久保田への使者帰着

2、玉馬登城

七庚申日 雪 (記事なし)

八辛酉日 暁

1・2、長勝寺・報恩寺の茶囊の事

3、借用の茶注文の写

九壬戌日 暁

1、江戸へ飛脚出発

2、大直寺登城

十癸亥日 晩雪

1、正月の御かざり下着

2、寄合所で能の稽古

3、主馬ら登城

十一甲子日 晩雨風雪

1・2、久冒院と素庵へ蜜柑進上

十二乙丑日 暁雪 (記事なし)

十三丙寅日 暁雪

1、弥右江門病氣本復

2、煤取り

十四丁卯日 晩風雪

1、平八郎ら登城

十五戊辰日 暁雪

1、諸士御礼

十六己巳日 暁

1、寄合所へ出座

十七庚午日 暁雪

1、式日寄合

2、江戸よりの飛脚到着

3、平八郎ら登城

十八辛未日 暁

1、寄合所へ出座

2、家中の戎台金につき閏月ある場合の取扱

3、御番具足の塗色

4、猿糞米についての書付の写

5、素庵へ銀子

6、棟方十左江門へこんむつ

7、埋木灰を江戸へ上すこと

8、縁組の許可

十九壬申日 暁風雪

1、寄合所へ出座

2、文昌院へ歳暮

3・4、平八郎・同内室へ進物

5、御息へ産着

6、帯刀ら登城

廿癸酉日 賜雪

1、寄合所で能の稽古

2、平八郎登城

廿一甲戌日 賜

1、寄合所へ出座

2、素庵へ歳暮

廿二乙亥日 賜雪

1、式日寄合

2、平八郎登城

廿三丙子日 晦風雪

1、節分

2、帯刀登城

廿四丁丑日 晦大風雪

1、寄合所へ出座

2、江戸へ飛脚

3、大道寺次郎市登城

廿五戊寅日 賜雪

1、寄合所へ出座

2、帯刀登城

廿六己卯日 賜

1、寄合所へ出座

2、大道寺次郎市登城

廿七庚辰日 賜雪

1、式日寄合

廿八辛巳日 晦雪

1、諸士御礼

2、江戸より飛脚到着

3、酒井雅楽頭の招請延期

4、来耳江戸留守に勤務の者

5、間宮勘右江門江戸登り

6、来耳よりの江戸御台所横山

7、縁組願の許可

8、家督跡式の許可

9、隠居願の許可

10、請米の儀に対する御礼銀

11、玄蕃書状

12、文昌院へ書状

13、歳暮

廿九壬午日 晦雪

1、帯刀ら登城

卅癸未日 賜

〔荒井清明・蝦名庸一・小館衷三・佐藤仁・宮崎直生〕
(これは、昭和三九年度科学研究費による研究の一部
をなすものである)